

ま え が き

大阪府の財政事情につきましては、毎年**6月**と**12月**にそのあらましを公表しておりますが、今回は、平成**22**年度の決算の概要と、平成**23**年**4月1日**から**9月30日**までの期間における財政運営の状況を中心に公表いたします。

まず、平成**22**年度一般会計決算では、「財政再建プログラム（案）」で掲げた「収入の範囲内で予算を組む」原則を徹底し、ありとあらゆる事業について、聖域なくゼロベースで総点検し、徹底した歳出削減を実行したこと、また、引き続き府税収入が減少したものの、それを補う地方交付税等の増加があったことなどにより、実質収支は**257**億円となり、**3**年連続で黒字を維持しました。

次に、平成**23**年度当初予算では、予算要求段階における部局長マネジメントの一層の発揮、監査結果の尊重等の考え方にに基づき、事務事業の積極的な見直しを行うとともに、“変革と挑戦”を貫き、“改革と成長”へと次なる一步を踏み出すため、「府政運営の基本方針**2011**」に基づき、平成**22**年**10**月に策定した「財政構造改革プラン（案）」の着実な実行に努めました。

しかし、雇用や経済の状況は依然として厳しく、景気低迷による税収の落ち込みなど、引き続き、極めて厳しい財政運営が予想されますが、財政規律をしっかりと維持しながら、「選択と集中」を通じて、限られた財源や人員等の重点化を図り、将来の大阪を見据えた府政を戦略的に推進していきます。

また、アジアの諸都市との熾烈な競争を勝ち抜き、大阪の成長を軌道に乗せ、府民の所得増、税収増へとつなげることにより、社会的に弱い立場の方々のセーフティネットをしっかりと構築していきます。そして、府民が誇れる「強い大阪」、府民の健康や暮らしを守り、誰もが安心して住める「やさしい大阪」をめざしていきます。

府民の皆様におかれましては、大阪府の厳しい財政の実情につきましてご理解をいただきますとともに、府政の推進に一層のご協力をお願いいたします。

平成**23**年**12**月

大阪府知事 松 井 一 郎